

## 文献による立山連峰の哺乳類の記録

著者	南部 久男, 後藤 優介
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	39
ページ	153-163
発行年	2015-06-20
URL	<a href="http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=1014">http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=1014</a>

## 資料

### 文献による立山連峰の哺乳類の記録\*

南部 久男

富山市科学博物館

939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

後藤 優介

ミュージアムパーク茨城県自然博物館

306-0622 茨城県坂東市大崎700

### Records of mammals from high mountains range in Toyama Prefecture, central Japan

Hisao Nambu<sup>1)</sup> and Yusuke Goto<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan

<sup>2)</sup> Ibaraki Nature Museum, 700 Osaki, Bando-City, Ibaraki 306-0622, Japan

#### はじめに

富山県は標高3000m前後の高山（北アルプス）を有するが、高山の哺乳類相は断片的な報告があるに過ぎない。今回、文献等を調査し、富山県の高山の哺乳類相をまとめたので報告する。

#### 調査文献

富山県の高山の哺乳類が記されている主な文献から、原則として標高2000m以上の確認年月、場所が分かる記録を抽出した。一部2000m以下の亜高山や山地の記録も含まれている。和名は原文通りに記し、学名が掲載されている場合は省略した。富山県側の北アルプスは、黒部峡谷を挟み、立山連峰と後立山連峰からなり（鎮西, 1995），これら一帯を立山連峰と呼ぶ場合がある（中田, 1963）。本文中では前者を用いたが、本報告のタイトルは後者を示す。哺乳類の記録があった高山は、立山連峰、後立山連峰、立山黒部アルペンルート沿いである（図1）。以下に、I 植木による報告等、II ライチョウ調査報告書、III その他の報告書等に分け記す。なお、IIIには富山県立山センターから提供頂いたオコジョの目撃記録を含む。

#### I 植木による報告等

植木の報告（亜高山帯や標高の高い山地含む）と今泉（1965）の報告から、産地、年月日が記載されている哺乳類の記録を抽出した。

(1) 植木（1961）

ヒメヒミズ；1951年7月30日、ミクリガ池。

ニッコウムササビ；1954年秋、美女平。

ヤマネ；1955年10月中旬、立山温泉；1956年9月、僧ヶ岳（1855m）。

ホンドオコジョ

・1953年7月29日、浄土山からザラ峠へ向かう途中の雪渓で、十数匹が群をなして遊んでいた。

・1953年10月17日、スキ谷（標高1000m）、冬毛の個体捕獲（写真有り）

後者の記録は、「1953年11月20日、常願寺川小口川産（標高約1000m）、冬毛個体の死体写真掲載」（植木, 1962b）、「冬期常願寺川支流小口川スキ谷（1000m）、夏毛と冬毛の写真があり」（植木, 1965）のオコジョの記録とは日付が異なるが同データと思われる。

(2) 植木（1962a）

シロウマトガリネズミ；1951年7月30日、立山ミクリガ池付近、写真有；1951年8月6日、白馬岳。

ヒメヒミズ；1954年夏、大日岳付近、幼獣（雄）、写真有；1961年秋、大日岳付近（成獣、雌）、写真有。

ホンドウサギコウモリ；1959年8月、千寿ヶ原、写真有；ホンドモモンガ；1955年10月初旬、有峰ダム工事現場、写真有。

トウホクヤチネズミ；1956年4月10日、雄山山頂。

(4) 植木（1962b）

1961年4月～10月にかけ称名滝一帯で調査が行われ（立山・称名滝総合調査団・富山新聞社, 1962），称名渓谷を中心として哺乳類が報告されている。

シロウマトガリネズミ；1960年11月15日の標高2300mの大谷産写真掲載。

ヒメヒミズ；1961年10月8日、標高1800mの大日平～大日岳、個体の計測値と写真掲載。

ミズラモグラ；1955年8月6日、雪倉産の写真掲載。

ニイガタヤチネズミ；室堂平産（1961年8月17日）の仮剥製と思われる写真が掲載。

オコジョ；1961年8月30日、大日小屋から大日平へ下る途中（標高約2000m）で目撃（生態写真掲載）；1953年8月7日浄土山産（夏毛の死体写真掲載）。

ニホンアナグマ；1961年8月14日、浄土山頂付近（2870m）

\* 富山市科学博物館研究業績第487号

でオス1頭捕獲（頭胴長540mm, 死体写真）。ニホンカモシカ；1961年5月21日，中の廊下，大谷の出会いの左岸約200mの黒い岸壁中腹で水を飲む。以下の(5)と(6)は，1962年から3年，奥黒部，有峰を中心とする地域で行われた調査の報告である（富山大学学術調査団，1965）。

(5)植木（1965）  
アズミトガリネズミ；1963年8月11日，奥黒部・鉢の木谷（1500m），雌1頭。  
アカイシトガリネズミ；1961年7月25日立山雷鳥沢（2300m）；1962年8月15日，真砂岳（2700m）。  
ホンシュウトガリネズミ；1959年8月20日，毛勝山釜石（標高2300m），雄。  
ニホンウサギコウモリ；1959年6月12日千寿ヶ原で5頭採集；植木（1961）と同一データであるが，頭数の記述がある。  
ヤマイタチ（ホンドオコジョ）；剣岳（3003m）。

(6)今泉（1965）

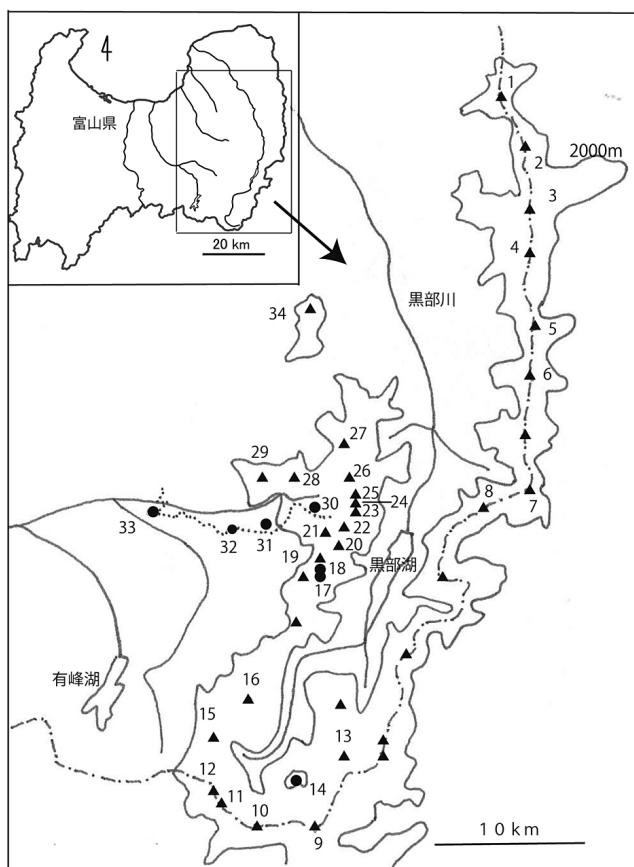


図1. 富山県の高山の山地名等 数字は本文中に掲載されている主な山地名等。破線は立山黒部アルペンルート。  
1朝日岳, 2雪倉岳, 3白馬岳, 4鎧ヶ岳, 5唐松岳, 6五龍岳, 7爺ヶ岳, 8鉢木岳, 9三俣蓮華岳, 10黒部五郎岳, 11赤木岳, 12北ノ俣岳, 13水晶岳, 14雲ノ平, 15太郎山, 16薬師岳, 17五色ヶ原, 18ザラ峰, 19獅子岳, 20龍王岳, 21淨土山, 22雄山, 23大汝山, 24富士ノ折立, 25真砂岳, 26別山, 27鋸岳, 28奥大日岳, 29大日岳, 30室堂, 31弥陀ヶ原, 32弘法, 33美女平, 34毛勝山。

1962年9月22日～25日，太郎山周辺（2200～2350m）で調査が行われた。A地点，太郎小屋北東約100m；B地点，太郎小屋南西約400m；C地点，太郎小屋の南西約500m；D地点，Cの谷川の湧水付近。  
ヒメヒミズ；A地点，成獣メス1個体。  
ホンシュウトガリネズミ；B地点でオス1，「便宜上shintoと同定」と記されている。  
ハタネズミ；A地点でオス2，メス1，C地点でオス2，メス2；「ホンドハタネズミ *Microtus montebelli* (Milne-Edwards, 1872) とは形態を異にするようである」と記されている。  
ホンドヒメネズミ；C地点メス1。  
ニホンドブネズミ；太郎小屋で幼獣1。  
ニホンリス；三角点の上方標高2000m前後，三角点より下方1800～1500mの針葉樹林内でチョウセンゴヨウの毬果を破壊し種子を食べ散らかした跡を数回目撃。  
トウホクノウサギ；C地点2350mで糞を多数目撃。  
ホンドギツネ；太郎小屋とB地点の中間で糞目撃。  
ホンドテン；折立峠のやや上方1400m，太郎小屋とB地点の中間，D地点で糞を目撃。  
ホンドオコジョ；9月23日，C・Gの中間で完全な夏毛のオコジョを目撃。

(7)植木（1973）  
カモシカ；1965年2月24日千寿ヶ原を出発し，10日もたつてようやく体重が40kg，3歳のメス1頭が薬師岳岩井谷付近（標高2200m）でいけどりにされた。

## II ライチョウ調査報告書

ライチョウの報告書には，①痕跡（糞）による哺乳類調査と糞分析（哺乳類や植物等の痕跡が含まれる），②トラップによる小型哺乳類の捕獲調査，等が報告されている場合がある。それぞれの調査年と調査地を記し，確認された痕跡（糞）の哺乳類名とその糞中に含まれる痕跡の哺乳類名（括弧内）を記す。なお，報告書名，編集，発行者は奥付による。発行年が不明の場合は「不明」とした。また，筆者名が明記してある場合は記した。確認された地域別の哺乳類を表1, 2に示す。

### 1 北アルプスライチョウ研究会編（1985a）

朝日岳（1973年調査），薬師岳（1974年），大日岳（1975年），剣岳（1976年）で行われた調査。

#### (1)朝日岳

##### ①哺乳類調査（平林・岸元, 1985）

1973年9月7日～12日（北又小屋～前朝日岳～朝日岳～長梅山）。キツネ，テンの糞。キツネ（ノウサギ，ノネズミ），テン（ノウサギ，ヒミズsp., ノネズミ）

(2)薬師岳

①哺乳類調査 (北原・宮野, 1985)

1974年7月5日～9日, 8月21～25日 (両期間, 太郎平小屋～薬師小屋～スゴ木屋). キツネ, テン, オコジョの糞 (いずれの哺乳類も両期間). キツネ (ウサギ).

②小型哺乳類調査 (不明, 1985)

1974年8月22日～26日 (薬太郎平小屋～薬師小屋～スゴ木屋). 薬師小屋でヒメネズミとヤチネズミが, スゴ木屋周辺でヒメネズミ, アカネズミ, カゲネズミ.

(3)大日岳

①哺乳類調査 (北原, 1985a)

1975年9月21日～24日 (室堂乗越～奥大日岳～大日岳). キツネ, テン, イタチ, オコジョ, クマの糞. キツネ (リス科, ネズミ科, ウサギ科), テン (モグラ科, ネズミ科, ウサギ科), イタチ (モグラ科, リス科, ネズミ科), オコジョ (ネズミ科), クマ (モグラ科, ネズミ科, ウサギ科).

②小型哺乳類調査 (北原, 1985b)

1975年9月21日, 22日, 24日 (大日小屋, 大日岳, 室堂乗越～室堂側). 9月21日, 22日に大日小屋 (2420m) ～大日岳 (2445m) で, ニイガタヤチネズミ, カゲネズミ, ヒメネズミ, ホンシュウヒミズが, 9月24日に室堂乗越 (2410m) でニイガタヤチネズミ.

(4)剣岳

①哺乳類調査 (北原ら, 1985)

1976年9月2日～5日 (剣沢, 剣岳～剣御前～別山). キツネ, テン, オコジョの糞. キツネとオコジョ (リス科, ネズミ科, ウサギ科), テン (ネズミ科).

②小型哺乳類調査 (宮野, 1985)

1975年9月2日～5日 (剣沢一帯). 剣沢小屋周辺 (2460～2520m) で, ヒメヒミズ, ニイガタヤチネズミ, ホンドヒメネズミ.

2 立山ライチョウ研究会, 1985a

①哺乳類 (天敵) 調査 (湯浅, 1985)

1974年5月, 7月, 10月 ((室堂と周辺 (浄土山))

キツネ

- ・5, 7, 10月 ; 足跡, 糞を室堂と隣接地域で確認.
- ・5月25日, 浄土山山頂尾根で, 足跡と糞確認.
- ・7月31日, 緑ヶ池で目撃.
- ・10月5日, りんどう池周辺で巣穴確認.

オコジョ

- ・7月31日 ; 1個体, 室堂山.

3 立山ライチョウ研究会編, 1985b.

①哺乳類調査 (小柳ら, 1985)

1977年9月17日～24日 (五色ヶ原一帯). キツネ, テン, イタチ, オコジョ, ツキノワグマの糞. キツネ・テン・オコジョ (ノウサギ, ネズミ類), イタチ (ネズミ類)

②小型哺乳類調査 (北原・土岐, 1985)

1977年9月19日～24日 (五色ヶ原一帯, 標高2400～2490m). ホンシュウヒミズ (1個体), ニイガタヤチネズミ(3), カゲネズミ(2), ホンドヒメネズミ(7), ホンドアカネズミ(7).

4 北アルプスライチョウ研究会 (1985b)

I 昭和53年度黒部五郎岳 (三俣蓮華山・双六岳)

小型哺乳類調査 (北原, 1985c)

(1)1978年6月19日～20日 (三俣山荘周辺). ヒメネズミ, ニイガタヤチネズミ, ハタネスミ.

(2)1978年8月9日～10日, 8月10日～11日, 9月20日～21日, 9月21日～22日 (黒部五郎小屋周辺). ニイガタヤチネズミ, ハタネスミ, ホンドヒメネズミ.

II 昭和54年度上ノ岳 (太郎山・赤木岳)

①哺乳類調査 (北原, 1985d)

1979年9月17, 19, 20, 22日 (太郎兵衛平～太郎山～北ノ俣岳～赤木岳～黒部五郎岳～黒部五郎小屋～三俣蓮華岳～三俣山荘). キツネ, テン, オコジョの糞. キツネ・テン・オコジョ (それぞれウサギ類, ネズミ類).

以下同報告書の目撃・聞き取りによる記録.

ツキノワグマ ; 三俣山荘付近 (6月), 五郎山頂 (8月), 太郎山 (9月).

オコジョ ; 五郎カール (8月), 五郎小屋 (9月).

キツネ : 足跡, 太郎山 (9月); 穴, 赤木平 (9月).

カモシカ ; 足跡, 赤木平 (9月).

②小型哺乳類 (北原, 1985e)

(1)1979年9月16～17日 (太郎山). ヒメヒミズ, ニイガタヤチネズミ, ハタネズミ.

(2)1979年8月7日～8日 (太郎平山荘周辺). ハタネズミ, ヒメネズミ.

(3)1979年9月19日～20日 (薬師峠). ハタネズミ.

III 昭和55年度白馬岳 (清水岳・旭岳)

①哺乳類調査 (北原, 1985 f )

1980年9月30日～10月2日 ((白馬岳中心 ; 三国境 (2751m) ～旭岳鞍部 (2530m)). キツネ (9月30～10月2日), テン (10月1日), クマ (9月30日). キツネ (ウサギ類, ネズミ類), テン (ネズミ類).

②小型哺乳類調査 (北原, 1985g)

1980年9月30日, 10月2日～4日 ((白馬岳山頂 (2933m) ～丸山 (2650m)). シロウマトガリネズミ, ホンシュウトガリネズミ, ヒメヒミズ, ニイガタヤチネズミ, *Eothenomys* sp., ホンドヒメネズミ, ハタネスミが捕獲され, *Ratus* sp. 目撃.

IV 昭和56年度 (立山・国見岳・浄土山・龍王岳・雄山・大汝山・真砂岳・別山・室堂乗越)

①哺乳類調査 (北原, 1985h)

1981年7月5～12日 (室堂平・室堂乗越より剣御前, 別山,

真砂岳, 一ノ越を経て, 龍王岳, 浄土山, 国見岳, 天狗山で囲まれた地域). キツネ, テン, オコジョの糞. キツネ (ネズミ類, ウサギ類), テン (ネズミ類), オコジョ (ネズミ類).

#### ②小型哺乳類調査 (北原, 1985i)

1981年7月6日 (剣御前一帯), 7月 (雷鳥荘一帯), 9月18日 (一ノ越一帯). ホンドヒメネズミ (剣御前, 一ノ越, 雷鳥荘), ニイガタヤチネズミ (一ノ越), ハタネズミ (雷鳥荘). 他にトガリネズミの一種 (*Sorex*), シナノミズラモグラ確認.

#### V 昭和57年度五龍岳 (白岳・東谷山)

#### 小型哺乳類調査 (北原, 1985j)

1982年7月4~7日 (五龍岳一帯). ニイガタヤチネズミ, ホンドアカネズミ.

#### VI 昭和58年度唐松岳

#### 小型哺乳類調査 (北原, 1985k)

1983年7月7~10日 (唐松岳頂上山荘周辺). ニイガタヤチネズミ, ホンドヒメネズミ.

#### 5 立山ライチョウ研究会 (1986)

##### ①哺乳類 (天敵) 調査 (湯浅, 1986)

1985年4~7月, 9, 10月 ((室堂と周辺 (浄土山)). キツネ (4月, 5月, 10月に足跡と糞), テン (7月, 9月に足跡と糞), オコジョ (6月に目撃), ドブネズミ (7月に目撃).

#### 6 富山県雷鳥生態研究会 (1986a)

#### 北原 (1986)

##### ①哺乳類調査

1985年6月30日~7月3日 (雲ノ平一帯, 標高2400m以上).

キツネ, テン, クマの糞. キツネ (ネズミ, ウサギ, カモシカ), テン (ネズミ, ウサギ), クマ (ウサギ).

・6月30日, 雲ノ平でカモシカ目撃.

##### ②小型哺乳類調査

1985年6月30日~7月3日 (雲ノ平山荘周辺). ホンシュウヒミズ, ニイガタヤチネズミ, ハタネズミ亜科の1種.

#### 7 立山連峰の自然を守る会 (発行年不明).

#### 動物 (正印・松田, 不明)

1978年2月7日~2月15日 (室堂平から弥陀ヶ原一帯)

#### キツネ

・2月7日~2月15日; 浄土山, 天狗平, 美松~弥陀ヶ原で足跡, 糞.

・2月12日, 弥陀ヶ原で鳴き声.

ノウサギ; 天狗平~美松の間, 足跡.

リス; 2月14日, 天狗平~美松の間で足跡.

#### カモシカ

・2月12日, 松尾峠付近の尾根すじ (標高1800m付近) で1頭目撃.

・2月12日, 称名川右岸側で3頭目撃.

#### 8 冬山ライチョウ生態研究会 (1985a)

1978年度~1983年度の主に3月 (室堂平, 天狗平, 弥陀ヶ原)

##### ①本文中の記録

#### キツネ

- ・1978年2月, 弥陀ヶ原で鳴き声.
- ・1981年3月, 炎高山で寝そべる雌雄目撃.
- ・1981年, 1982年, 1983年, 各年の3月の室堂 (標高約2400m) から弘法 (標高約1600m), 弥陀ヶ原まで, 足跡が地図上に記されている.

厳冬期の2400~3000mのライチョウの天敵はキツネで, トウホクノウサギは, 昭和30年前後より急激に減少しことんどみられない, と記されている.

##### ③付表中の哺乳類の記録

#### キツネ

- ・1981年3月12日; 2個体, 天狗山中腹~国見岳.
- ・1981年3月12日; 1個体, 浄土山から室堂山.
- ・1981年3月18日; 1個体, そうめん滝下部より大日岳.
- ・1982年3月3日; 2個体, 炎高山北西斜面2300m休息中. 雌雄と考えられる.

#### カモシカ

- ・1979年3月14日; 1個体, 大日岳称名側中腹2000m.
- ・1981年3月18日; 1個体, 大日岳斜面 (天狗の鼻対岸).
- ・1982年3月4日; 2個体, 大日岳南側斜面.
- ・1982年3月4日; 2個体, 大日岳南側斜面.
- ・1982年3月4日; 2個体 (親子), 大日岳南側斜面. (3月4日の個体はすべて別個体)
- ・1982年3月8日; 1個体, 大日岳称名側斜面.
- ・1982年3月10日; 2個体, 奥大日岳南小尾根.
- ・1982年3月22日; 1個体, 大日岳称名側尾根2100~2200m.
- ・1983年3月15日; 2個体 (親子), 奥大日岳南小尾根.
- ・1983年3月15日; 1個体, 大日岳南小尾根.
- ・1983年3月19日; 1個体, 称名滝崖上.

#### 9 冬山ライチョウ生態研究会 (1985b)

#### ライチョウ以外の動物

1985年3月11日~19日 (室堂と周辺)

#### キツネ

- ・3月19日; 1個体, 室堂乗越稜線.
- ・3月13日, 天狗平から国見岳へ足跡.
- ・3月16日, 天狗平から室堂一帯に足跡.
- ・3月16日, 丸山で糞.

#### テン

- ・3月12日, 乗越尾根で足跡.

#### 10 富山県雷鳥生態研究会, 1986.

#### 他の動物

1986年3月11日~19日 (室堂平・大谷・地獄谷).

## キツネ

- ・3月11日，糞。
- ・3月12日，室堂平，足跡。

## 11 富山雷鳥研究会，1987.

I ライチョウ棲息環境調査昭和61年度 立山 天狗山・国見岳・浄土山・龍王岳・雄山・大汝山・真砂岳・別山。

### ①哺乳類調査

1986年7月5日～7月8日（室堂と周辺）

室堂乗越・別山方面，別山南面，真砂岳東面，室堂平・地獄谷方面，浄土山，雄山東面・カールのすべてでキツネの糞だけが採集。フン中には，トウホクノウサギ，ネズミ科，リス，カモシカの痕跡。

### ②小型哺乳類調査

1986年7月9日，8月10日（室堂山荘周辺）

ハタネズミ；7月9日，8月10日，室堂山荘周辺；8月9日，雷鳥沢。

ニイガタヤチネズミ；8月7日，浄土山；9月29日，自然保護センター上部。

ホンドアカネズミ；8月9日，雷鳥沢。

ホンドヒメネズミ；9月29日，自然保護センター上部。

## II 立山ライチョウ生態調査

### 哺乳類調査

1986年春～秋（室堂と周辺）

## キツネ

- ・4月19日，つばくろ滝～称名で目撃。
- ・6月14日，室堂山荘横，乗越尾根大岩で糞。

オコジョ；8月5日，油しぶき岩～室堂山荘で糞。

## III 冬山ライチョウ棲息調査

### 哺乳類調査

1987年3月11日～3月27日（室堂平）

## キツネ

- ・3月12日，15日，17日，19日，21日，22日，23日；みくりが池周辺等で足跡。

ホンドテン；3月22日，血の池看板で足跡。

## ニホンカモシカ

- ・3月15日，17日；中大日岳下部称名側で足跡。

## トウホクノウサギ

- ・3月12日，19日；称名谷中の廊下で足跡。

## ホンドオコジョ

- ・3月22日；血の池周辺，ホンドオコジョらしき足跡。

## 12 富山雷鳥研究会（不明）

I ライチョウ棲息環境調査昭和62年度鐘ヶ岳（北原，不明）

1987年7月4日～7月9日（鐘ヶ岳周辺）

キツネ；鐘ヶ岳の稜線上（鐘ヶ岳，天狗山荘，天狗ノ頭など）で糞や足跡，西斜面で目撃。

カモシカ；鐘ヶ岳西斜面の3箇所で目撃され，足跡，糞，

痕跡が広く確認。

ノウサギ；糞が広い範囲で確認。鐘ヶ岳西斜面1箇所で目撃。

ツキノワグマ；1カ所で親1頭，子共2頭の親子連れ。

II 立山ライチョウ生態調査昭和62年度（富山雷鳥研究会，不明）  
他の動物

1987年4月20日～11月8日（室堂と周辺）

## ホンドギツネ

- ・5月31日，炎高山で糞。
- ・10月25日，室堂平一帯で足跡。
- ・11月7日，乗越尾根や浄土沢で足跡。

## オコジョ

・7月5日，みどりが池周辺で何かを威嚇する声。

III 冬山ライチョウ棲息調査昭和62年度（富山雷鳥研究会，不明）。哺乳類調査は行われていない。

## 13 富山雷鳥研究会（不明）

I 水晶岳ライチョウ棲息環境調査昭和63年度

### 哺乳類調査

1988年7月11日～7月16日（水晶岳から野口五郎岳の稜線ぞい）。ニホンツキノワグマ，ホンドキツネ，ホンドテン，ホンドオコジョの糞確認。ニホンカモシカは痕跡と目撃（1回），トウホクノウサギは痕跡と目撃（1回）。

### ①小型哺乳類調査

1988年7月14日（水晶小屋周辺）

- ・ニイガタヤチネズミ；7月14日，水晶小屋周辺。
- ・ホンドヒメネズミ；7月14日，水晶小屋周辺。

II 立山ライチョウ生態調査昭和63年度（哺乳類調査は行われていない）

III 冬山ライチョウ棲息調査昭和63年度

### ライチョウ以外の動物

1989年2月4日～8日，3月11日～21日（室堂周辺）

ホンドギツネ；2，3月に雷鳥荘～双子山，大日岳下部，みくり山，称名川出会い大日岳側河床で足跡が，称名川出会い下流河床で目撃。

トウホクノウサギ；2月6日天狗第一駐車場付近で足跡；3月15，16，19，20日称名川出会い下流河床で足跡；3月18日炎高山～室堂乗越で目撃。

ホンドオコジョ；2月5日に丸山，乗越尾根大岩～大谷で足跡を確認。

ホンドテン；2月6日，鏡石下称名川沿いで足跡。

## III その他の報告書等

### 1. 富山県自然保護課（1980）

モグラ目とヤマネについて，富山県自然保護課（1980）より，他の文献にはない高標高の記録（場所，年月日）等を挙げた。

- ・ヒメヒミズ；1978年9月24日，上ノ岳（2661m）。

表1 富山県の高山で記録された中・大型ほ乳類

山岳	調査年	調査月	キツネ	テン	オコジョ	イタチ	ノウサギ	リス	ツキノワグマ	カモシカ	文献
室堂と周辺	1981	9	○	○	○						4
室堂と周辺	1984	5,7,10	○5,7,10		○7						2
室堂と周辺	1985	4,5,6,7,10	○4,5,10	○7,9	○6						5
室堂と周辺	1986	4,6,7,8	○4,6,7		○8						11
室堂と周辺	1987	5,7,10,11	○5,10,11		○7						12
室堂と周辺	1978	2	○				○*1	○*2			7
室堂と周辺	1981~1983	3	○								8
室堂と周辺	1985	3	○	○							9
室堂と周辺	1986	3	○								10
室堂と周辺	1987	3	○	○	○?						11
室堂	1989	2,3	○2,3	○2	○2		○2,3				13
弥陀ヶ原	1978	2	○				○				7
弥陀ヶ原	1979	2	○								8
大日岳	1981	3	○								8
大日岳	1979~1983	3							○		8
中大日下部	1987	3							○		11
奥大日岳	1982~1983	3							○		8
称名滝崖上	1983	3							○		8
称名谷	1987	3					○				11
称名川右岸	1978	2							○		7
松尾峠	1978	2							○		7
朝日岳	1973	9	○	○							1
白馬岳	1979	9,10	○9,10	○10					○9		4
鐘ヶ岳	1987	7	○				○		○	○	12
薬師岳	1974	7,8	○7,8	○7,8	○7,8						1
大日岳・奥大日岳	1975	9	○	○	○	○			○		1
劍岳～別山	1976	9	○	○	○						1
太郎山	1979	9	○						○		4
上ノ岳	1979	9	○	○	○						4
赤木岳	1979	9	○	○	○				○		4
黒部五郎岳	1979	9	○	○	○				○		4
三俣蓮華岳	1979	9	○						○		4
水晶岳	1988	7	○	○	○				○	○	13
雲ノ平	1985	6,7	○	○					○		6
五色ヶ原	1977	9	○	○	○	○			○		3

\*1 美松 \*2 天狗平～美松 ?は「オコジョらしき糞」 (注1)表中の哺乳類の数字は確認月 (注2)文献の番号は本文(II)の文献番号に対応

表2 富山県の高山で記録されたモグラ目・ネズミ科

山岳	調査年	調査月	アズミガリ ネズミ	シントウト ガリネズミ	Sorex 属一種	ヒメ ヒミズ	ヒミズ	ミズラ モグラ	ヤチ ネズミ	ハタ ネズミ	アカ ネズミ	ヒメ ネズミ	ドブ ネズミ	文献
室堂	1981	7								○		○		4
劍御前	1981	7			○*3			○*3				○		4
一ノ越	1981	9							○			○		4
室堂と周辺	1985	7										○		5
室堂と周辺	1986	7,8							○	○	○	○		11 II
劍沢	1976	9			○			○				○		1
大日岳	1975	9				○		○				○		1
五色ヶ原	1977	9				○		○		○	○	○		3
白馬岳	1979	9,10	○	○	○			○				○	○*2	4
唐松岳	1983	7						○				○		4
五龍岳	1982	7						○			○			4
水晶岳	1988	7						○				○		13
雲ノ平	1985	6,7				○		○		○*1				6
三俣蓮華岳	1978	6						○		○		○		4
黒部五郎岳	1978	8,9						○		○		○		4
薬師岳	1974	7,8						○			○	○		1
太郎山	1979	8,9			○			○		○		○	○	4

\*1 ハタネズミ亜科 \*2 Rattus 属一種 \*3 拾得 (注)文献の番号は本文(II)の文献番号に対応

- ・ミズラモグラ；1975年7月4日（奥大日岳，2600m），  
1978年8月20日（天狗平，2350m）。
- ・ヤマネ；1974年8月（内蔵の助山荘，2760m），1978年  
(薬師沢小屋，繁殖)，1975年7月13日（室堂平），1974  
年9月14日（浄土山腹）。

## 2. 富山県立山センター発行の業務報告書等

富山県立山センター（2001～2015）の報告書に掲載さ  
れている立山等で確認された哺乳類を表3に示す。

## 3. オコジョの目撃記録

富山県立山センターから提供頂いた2011～2013年（平  
成23～25年）のオコジョ目撃を地域ごとまとめた（表4-  
1, 2）。なお、本記録は立山等の登山者等が目撃したオ  
コジョの記録を集計したものである。

## 4. 富山森林管理署（2014, 2015）

富山森林管理署（2014, 2015）により、高山帯のニホンジカの分布状況を調査するため、高山帯の稜線ぞいに設置された自動撮影カメラに哺乳類が撮影されている。

2013年8～10月に、大黒岳付近（標高2360m）～鉢ノ木岳付近（標高2670m）の稜線12地点に設置された自動撮影カメラに、キツネ9箇所、ニホンザル8箇所（最高標高、赤沢岳付近付近の2640m）、ノウサギ4箇所、テン、ツキノワグマ、ニホンジカがそれぞれ2箇所、カモシカ1箇所、ハクビシン1箇所で撮影されている（富山森林管理署, 2015）。ツキノワグマは岩小屋沢岳付近（8月, 2530m）、種池小屋付近（2390m, 9月）で、ニホンジカは赤沢岳付近（8月, 2640m）、スバリ岳付近（9月, 2510m）で確認されている。2014年7月下旬から9月中旬に太郎山（標高2180m）～三俣山荘（標高2670m）の間12箇所に設置された自動カメラには、キツネが6箇所、ノウサギ2箇所、テン、ツキノワグマ（北ノ俣岳周辺2530m）、ニホンジカ（赤木岳周辺2570m）がそれぞれ1箇所で撮影されている。同年、8月初旬から9月下旬に、獅子岳（標高2590m）、ザラ峠（2340m）、五色ヶ原（2450m）に設置された自動カメラには、キツネが獅子岳、とザラ峠で、テンとノウサギがザラ峠（標高2340m）で、ツキノワグマが獅子岳付近（2590m）で撮影されている。

## 5. 2014年の立山でのツキノワグマの記録

2014年に立山で後藤（2015）により確認されたツキノワグマの記録等を記す。2014年9月12日に、浄土山北斜面（標高2600m）、真砂沢（2550m）、別山南東斜面（2800m）で成獣又は亜成獣が目撃され、9月13日には内蔵助カール（2675～2719m）とライチョウ沢登山道（2378m）で糞が確認され、10月10日には御前沢氷河（2580m）で糞が確認されている。また、2014年9月11日に雷鳥沢でベニバナイチゴを菜食する個体が太田道人氏によって目撃されている。

## まとめ

富山県の高山（おおよそ標高2000m以上）に生息する哺乳類は、I, II, IIIで記した痕跡・目撃情報等から、阿部（1998）、子安（1988）、Ohdachi et al. (2009) を参考に、確実と思われる記録から、種のレベルで6目14科、25種が記録された（表5）。

25種のうち、ハクビシンは外来種、ドブネズミは氾世界的な分布種である。その他は在来種である。今回、文献から収集された富山県の高山帯における哺乳類の概要を以下に述べる。

小型哺乳類ではモグラ目のアズミトガリネズミ、シントウトガリネズミ、ヒメヒミズ、ヒミズ、ミズラモグラが、ネズミ目ネズミ科では、ヤチネズミ、スマスネズミ、ハタネズミ、アカネズミ、ヒメネズミ、ドブネズミが記録された。ドブネズミは人為的に運ばれてきたものと思われる。シントウトガリネズミ、スマスネズミ等の同定には標本による精査が必要と思われる。

オコジョは4～10月下旬に室堂や周辺の山々（室堂山、浄土山、室堂から一ノ越、雄山）で目撃され、立山・黒部アルペンルート沿いでは、室堂から弥陀ヶ原あたりまで目撃されている。立山連峰では、大日岳、奥大日岳、剣岳、五色ヶ原、太郎山、北ノ俣岳（上ノ岳）～三俣蓮華岳、等で、後立山連峰では、白馬岳、鐘ヶ岳で確認されており、富山県の高山帯に広く生息すると考えられる。例数は少ないものの10月中旬には夏毛と冬毛の中間の個体が龍王岳で、10月下旬には、室堂、浄土山で冬毛の個体が確認されている。ヤマネとモモンガは少ない例数が確認されている。

中型哺乳類では、キツネの記録が多く、12、1月を除く全月で確認され、次いでテンの記録が多く、11～1月を除く、全月で確認されている。ノウサギは12～1月を除くほぼ全季節確認されている。ニホンザルは、室堂とその周辺では情報がなく、後立山連峰で確認されている。

大型哺乳類では、ツキノワグマが6～11月に高山帯の白馬岳（2420～2550m）、鐘ヶ岳（2450～2730m）、黒部五郎岳（2800m）、水晶岳（2500～2600m）、北ノ俣岳周辺（標高2530m）、太郎山（2350m）、五色ヶ原（2400～2570m）、獅子岳（2590m）、室堂（2400m）、大日岳（2350～2450m）等で記録されている。イノシシは高山帯での記録は少ないが、室堂で確認されている。ニホンジカは岐阜県境の稜線付近の高山帯（赤沢岳2640m、スバリ岳（2510m）、赤木岳周辺（2570m）や南砺市水無平（標高1500m）、宇奈月町黒部峡谷（標高780m）の山地（富山森林管理署, 2014, 2015）、立山黒部アルペンルート沿の弘法（1556m）や剣岳長治郎谷（標高2003mで死体情報）の山地（富山県動物生態研究会, 2014, 2015）

表3 富山県の高山で記録されたほ乳類（富山県立山センター、2001～2015） 表中の数字は確認された月

	大日岳	室堂山・国見岳	剣御前、 剣沢～別山	一ノ越	室堂周辺	天狗平	鏡石・ 美松	弥陀ヶ原・ 追分・弘法	引用1)
標高m	2498	2669・2620	2776, 2500～2880	2705	2400	2300	2245・2050	1930・1820・ 1630	
アズミトガリネズミ		○			○		○	○	1,2,5,7,13
トガリネズミ					○	○			3,6,7,8,9
ヒメヒミズ					○	○		○	1,2,5,11
ヒミズ					○			○	5,6
ミズラモグラ					○		○	○?	1,2,3,5,6,7,8,9,12
アブラコウモリ					○9				12
キツネ					○4,5,7,8,9,10	○6,8,10	○8	○7	4,5,6,7,8,9,10,11,12,14,15
ツキノワグマ	○9	○7,8,10,11	○9		○7,8,9,10			○4,9	7,9,10,11,13,15
テン					○9	○4,5,6,7,8,9,10			4,6,8,10,11,12,13,14
アナグマ					○5	○9			11,15
ハクビシン						○8			1,15
イノシシ						○6,10		○10	10,11
ニホンカモシカ		○6,10	○6	○*3)	○7				4,10,12
ニホンリス					○7,9,10,11		○6	○9	7,9,10,13,14
モモンガ						○5			6
ヤチネズミ						○			3,6,7,8,9,10,11,12,13,14
スミスネズミ						○			14
ハタネズミ						○			1,2,8,9
ヒメネズミ						○			2,3,7,13
ヤマネ						○5,7,10			9,14
ノウサギ		○7○6,9*2)	○9		○4,10,11	○8,11	○4,7,9	○8	5,7,8,9,11,12,13,14,15

1)立山センター業務報告書の号数 2)浄土沢 3)東一ノ越

表4-1 オコジョの目撃（室堂～大観台） 表中の数字は件数

	地名	室堂	雷鳥沢	天狗平	天狗ノ鼻	美松	弥陀ヶ原	弘法	大観台
	標高	2450	2300	2300	2100	2030	1930	1630	1470

2011年

夏毛	7月	7		1					
夏毛	8月	6							
夏毛	9月	10	1						
夏毛	10/3～17	4							

2012年

夏毛	2012/5/18	1							
夏毛	6月	6							
夏毛	7月	3	1						
夏毛	8月	40		1	2				
夏毛	9月	28		1					
夏毛	10/2～14	18	1	3					

2013年

夏毛	4/25	4							
夏毛	5月	1						1	
夏毛	6月	1							
夏毛	7月	1							
夏毛	8月	14		3					
夏毛	9月	28							
夏毛	10/4,6	1							
中間	10/17	1							
冬毛	10/20	1							

2014年

夏毛	5/4	2							
夏毛	6月	14							
夏毛	7月	26			1	1			
夏毛	8月	13	2						
夏毛	9月	9				2			
夏毛	10/2～16	2					1		

(奥大日～剣岳等)

奥大日岳	大日岳	剣岳	剣御前 小屋	雷鳥沢～ 剣御前	剣沢	太郎平 手前
2611	2498	2999	2750		2450	

1	1	1				
			1		1	
				1		

1						
			4			

2	2					
		2				1

表4-2 オコジョの目撃（室堂と周辺） 表中の数字は件数

	地名	室堂山	浄土山	龍王岳	室堂～一ノ越	一ノ越	雄山	大汝山	富士の折立	真砂岳	別山
	標高	2668	2831	2872		2700	3003	3015	2999	2861	2880
2011年											
夏毛	6/22				1						
夏毛	8月	4					1				
夏毛	9月		1								
2012年											
夏毛	7月				1	2					
夏毛	8月	5	3		2	2	7			1	
夏毛	9月		2		3	2	4	1			
夏毛	10/2～14				1	1					
2013年											
夏毛	5月					1					
夏毛	7月				1						
夏毛	8月	6	1		2	1		2			
夏毛	9月	2	1	1	2	1				1	
夏毛	10/4,6	2									
中間	10/15			1							
2014年											
夏毛	7月	1						1			
夏毛	8月		2		11	4	4	2	1		
夏毛	9月	2		1	5	3	1	2			
夏毛	10/2～16				1						
冬毛	10/25		1								

表5 富山県高山帯の哺乳類の目録

目 名	科 名	和名・学名	
モグラ目 INSECTIVORA	トガリネズミ科 Soricidae	1 アズミトガリネズミ	<i>Sorex hosoni</i> Imaizumi, 1954
		2 シントウトガリネズミ	<i>Sorex shinto</i> Thomas, 1905
サル目 PRIMATES	モグラ科 Talpidae	3 ヒメヒミズ	<i>Dymecodon pilirostris</i> True, 1886
		4 ヒミズ	<i>Urotrichus talpooides</i> Temminck, 1841
		5 ミズラモグラ	<i>Euroscaptor mizura</i> (Günther, 1880)
	オナガザル科 Cercopithecidae	6 ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i> (Blyth, 1875)
	ヤマネ科 Gliridae	7 ヤマネ	<i>Glirulus japonicus</i> (Schinz, 1845)
	ネズミ科 Muridae	8 ヤチネズミ	<i>Eothenomys andersonii</i> (Thomas, 1905)
		9 スミスネズミ	<i>Eothenomys smithii</i> (Thomas, 1905)
		10 ハタネズミ	<i>Microtus montebelli</i> (Milne-Edwards, 1872)
		11 アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i> (Temminck, 1844)
		12 ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus</i> (Temminck, 1844)
		13 ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i> (Berkenhout, 1769)
	リス科 Sciuridae	14 ニホンリス	<i>Sciurus lis</i> Temminck, 1884
ウサギ目 LAGOMORPHA		15 ニホンモモンガ	<i>Pteromys momonga</i> Temminck, 1844
	ウサギ科 Leporidae	16 ニホンノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i> Temminck, 1845
ネコ目 CARNIVORA	イヌ科 Canidae	17 アカギツネ(キツネ)	<i>Vulpes vulpes</i> Linnaeus, 1758
	クマ科 Ursidae	18 ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i> G. Cuvier, 1823
	イタチ科 Mustelidae	19 オコジョ	<i>Mustela erminea</i> Linnaeus, 1758
		20 ニホンテン(テン)	<i>Martes melampus</i> (Wagner, 1840)
		21 ニホンアナグマ(アナグマ)	<i>Meles anakuma</i> Temminck, 1844
ウシ目 ARTIODACTYLA	ジャコウネコ科 Viverridae	22 ハクビシン**	<i>Paguma larvata</i> (Smith, 1827)
	シカ科 Cervidae	23 ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i> Temminck, 1838
	イノシシ科 Suidae	24 イノシシ	<i>Sus scrofa</i> Linnaeus, 1758
	ウシ科 Bovidae	25 カモシカ	<i>Capricornis crispus</i> (Temminck, 1845)

分類、和名、学名はOhdachi et al. (2009)による。括弧の和名は阿部ら(2005)により、本文で採用した。

で確認されていることから、確実に高山帯へ分布域を広げているといえる。

カモシカは冬期のライチョウ調査の際に3月に大日岳の斜面で目撃され、7、9月には鎧ヶ岳、赤木岳、水晶岳でも確認されている。近年では、室堂と周辺でも確認されている。

## 謝辞

富山県立山センターにはオコジョのデータを提供して頂きました。富山営林署にはニホンジカの報告書を、松田勉氏にはライチョウ関係の報告書をご教示頂きました。江本誠氏には調査ご協力いただき、太田道人氏にはデータを提供していただき、白石俊明氏には文献をご教示いただきました。各位に心よりお礼申し上げます。

## 文献

### 本文 I

立山・称名滝総合調査団・富山新聞社, 1962. 立山一称名滝とその渓谷を探るー. 富山新聞社発行. 312pp.  
富山大学学術調査団. 1965. 北アルプスの自然. 254pp. 古今書院. 東京.  
植木忠夫, 1961. 立山連峰の動物相. 遺伝15 (5) :24-28.  
植木忠夫, 1962a. 立山の動物. pp. 202-210. 立山と黒部 (富山県郷土史会叢書第7集).  
植木忠夫, 1962b. 称名渓谷を中心とする哺乳類と両生類について. pp. 224-232. 称名滝とその渓谷を探る. 立山・称名滝総合学術調査団・富山新聞社.  
植木忠夫, 1965. 立山山系とその周辺地域(TKA地域)の小哺乳類および有尾両生類. pp. 193-204. 北アルプスの自然. 富山大学学術調査団. 古今書院. 東京.  
植木忠夫, 1973. 立山連峰の動物. pp. 59-80. 立山連峰. 文部省登山研究所.  
今泉吉典, 1965. 奥黒部太郎山の哺乳類pp. 205-211. 北アルプスの自然. 富山大学学術調査団. 古今書院. 東京.

### 本文 II

本文に掲載された順に報告書名(奥付による)を挙げ、哺乳類が記述されている項目を、該当報告書の次に挙げる(報告書名は省略)。発行年不明の場合は「不明」と記した。  
1 北アルプスライチョウ研究会編, 1985a. ライチョウ生息環境調査報告書(復刻版) (昭和48年度～昭和51年度調査). 富山県発行. 127pp.  
・平林国男・岸元良輔. 1985. Ⅲライチョウ生息地域の哺乳類と猛禽類. 2調査結果. (1)朝日岳. ア)朝日岳-長梅山に於ける食肉類の糞の分析について. pp. 36-43.  
・北原正宣・宮野典夫. 1985. Ⅲライチョウ生息地域の哺

乳類と猛禽類. 2調査結果. (2)薬師岳ア)薬師岳における中型哺乳類の糞とイヌワシのペリットについて. pp. 45-48.

- ・不明. 1985. Ⅲライチョウ生息地域の哺乳類と猛禽類. 2調査結果. (2)薬師岳イ)薬師岳における小型哺乳類について. pp. 48-50.
- ・北原正宣, 1985a. Ⅲライチョウ生息地域の哺乳類と猛禽類. 2調査結果. (3)大日岳. ア)大日岳周辺のライチョウ生息範囲における哺乳類の食性について. pp. 50-59.
- ・北原正宣, 1985b. Ⅲライチョウ生息地域の哺乳類と猛禽類. 2調査結果. (3)大日岳. ア)大日岳一帯に生息する小哺乳類の採集結果. pp. 60-63.
- ・北原正宣・土岐惣亮・小柳奈津江, 1985. Ⅲライチョウ生息地域の哺乳類と猛禽類. 2調査結果. (4)剣岳. ア)剣岳周辺のライチョウ生活圏内における哺乳動物の食性について. pp. 63-71.
- ・宮野典夫, 1985. Ⅲライチョウ生息地域の哺乳類と猛禽類. 2調査結果. (4)剣岳. イ)剣沢一帯に生息する小哺乳類の採集結果. pp. 71-75.
- 2 立山ライチョウ研究会, 1985a. 立山ライチョウ生態調査報告書(昭和59年度調査). 編集・発行富山県. 12 pp.
- ・湯浅輝久. 1985. 立山ライチョウ生態調査. 4. 結果及び考察. (4)天敵の状況について. pp. 8-11.
- 3 立山ライチョウ研究会編, 1985b. ライチョウ生息環境調査報告書(復刻版)(昭和52年度調査). 発行富山県. 37pp.
- ・小柳奈津江・土岐惣亮・北原正宣, 1985. Ⅱ哺乳類の食性についてー特に糞分析からみた食性ー. pp. 8-17.
- ・北原正宣・土岐惣亮, 1985. Ⅲ小哺乳類の採集結果. pp. 18-24.
- 4 北アルプスライチョウ研究会, 1985b. ライチョウ生息環境調査報告書(昭和53年度～昭和58年度調査). 編集・発行富山県. 47+58+86+44+48+53pp.
- ・北原正宣, 1985c. I 昭和53年度黒部五郎岳(三俣蓮華山・双六岳) Ⅱ 小哺乳類の採集結果. pp. 27-37.
- ・北原正宣, 1985d. Ⅱ 昭和54年度上ノ岳(太郎山・赤木岳). Ⅱ 小哺乳類の食性についてー特に糞分析からみた食性ー. pp. 25-36.
- ・北原正宣, 1985e. Ⅱ 昭和54年度上ノ岳(太郎山・赤木岳). Ⅲ小哺乳類の採集結果. pp. 37-45.
- ・北原正宣, 1985f. Ⅲ昭和55年度白馬岳(清水岳・旭岳). Ⅱ 小哺乳類の採集結果. pp. 49-60.
- ・北原正宣, 1985g. Ⅲ昭和55年度白馬岳(清水岳・旭岳). Ⅲ小哺乳類の食性についてー特に糞分析からみた食性ー. pp. 61-69.
- ・北原正宣, 1985h. IV昭和56年度(立山・国見岳・浄土山・龍王岳・雄山・大汝山・真砂岳・別山・室堂乗越).

- I 小哺乳類の採集結果. pp. 15-18.
- ・北原正宣, 1985i. IV 昭和56年度(立山・国見岳・淨土山・龍王岳・雄山・大汝山・真砂岳・別山・室堂乗越). II 小哺乳類の食性について一特に糞分析からみた食性-. pp. 19-25.
  - ・北原正宣, 1985j. V 昭和57年度五龍岳(白岳・東谷山). II 天敵等の生息状況—地上性天敵を中心として-. pp. 23-26.
  - ・北原正宣, 1985k. VI 昭和58年度唐松岳. II 天敵等の生息状況—地上性天敵を中心として-. pp. 23-39.
  - 5 立山ライチョウ研究会, 1986. 立山ライチョウ生態調査報告書昭和60年度. 編集・発行富山県. 13pp.
  - ・湯浅輝久. 1986. 立山ライチョウ生態報告書. 4結果及び考察. (4)天敵の生息状況について. pp. 9-11.
  - 6 富山県雷鳥生態研究会編, 1986. ライチョウ棲息境調査報告書 雲ノ平 昭和60年度 発行富山県. 53pp.
  - ・北原正宣, 1986. III ライチョウに対する天敵などの生息状況. pp. 31-53.
  - 7 立山連峰の自然を守る会, 不明. 第1回厳冬期雷鳥調査報告書1978年2月. 37pp.
  - ・正印清逸・松田勉, 不明. 動物. pp. 17-26.
  - 8 冬山ライチョウ生態研究会編. 1985a. 4. 調査結果(7)天敵pp. 59-62. 付表ライチョウ以外の動物pp. 66. 冬山ライチョウ生息調査報告書(昭和53年度～昭和58年度調査). 発行富山県. 67pp.
  - 9 冬山ライチョウ生態研究会編. 1985b. 7 ライチョウ以外の動物pp. 32-33. 冬山ライチョウ生息調査報告書 昭和59年度. 発行富山県. 37pp.
  - 10 富山県雷鳥生態研究会編, 1986b. 調査結果(3)他の動物pp. 32. 冬山ライチョウ生息調査報告書 昭和60年度. 発行富山県. 33pp.
  - 11 富山雷鳥研究会, 1987. ライチョウ調査報告書 昭和61年度. 発行富山県. 110pp.
    - I ライチョウ棲息環境調査昭和61年度 立山 天狗山・国見岳・淨土山・龍王岳・雄山・大汝山・真砂岳・別山. 3. 天敵
      - (1)小哺乳類の食性について一特に糞分析からみた食性- pp. 25-31.
      - (2) 小哺乳類の採集結果. pp. 31-34.
    - II 立山ライチョウ生態調査 天敵. pp. 50.
    - III 冬山ライチョウ棲息調査昭和61年度.
      - 5. 環境. (1)ライチョウ以外の動物. pp. 89.
  - 12 富山雷鳥研究会編, 不明. ライチョウ調査報告書昭和62年度(不明). 発行富山県. 56pp.
  - ・北原正宣, 不明. I ライチョウ棲息環境調査昭和62年度 鎧ヶ岳. IV 天敵. pp. 12-20.
  - ・富山雷鳥研究会, 不明. II 立山ライチョウ生態調査 7. 他の動物. p. 43.
  - ・富山雷鳥研究会, 不明. III 冬山ライチョウ棲息調査. pp. 45-56.
  - 13 富山雷鳥研究会編, 不明. ライチョウ調査報告書昭和63年度. 発行富山県. 135pp.
 

次の I, III に哺乳類の記述がある.

    - I 水晶岳ライチョウ棲息環境調査昭和63年度水晶岳. 4. 地上棲哺乳類について. pp. 35-44.
    - II 立山ライチョウ生態調査昭和63年度
    - III 冬山ライチョウ棲息調査昭和63年度. 3 ライチョウ以外の動物. pp. 117-119.

### 本文Ⅲ

富山県自然保護課, 1980. 富山県の鳥獣. 富山県発行. 242pp.

富山県立山センター, 2001～2015. 立山センター 立山自然保護センター業務報告書第1号 平成12年度～第15号 平成26年度.

富山森林管理署, 2014. 平成25年度ニホンジカ外分布状況及び被害状況調査報告.

富山森林管理署, 2015. 平成26年度ニホンジカ外分布状況及び被害状況調査報告. 51pp.

### その他本文 I, II, III以外

阿部永, 1998. モグラ科の分類・形態. pp. 25-58. 食虫類の自然史. 比婆科学教育振興会. 391pp. 庄原市.

阿部永・石井信夫・伊藤徹魯・金子之史・前田喜四雄・三浦真吾・米田政明(編), 2005. 日本の哺乳類[改訂版]. 206pp. 東海大学出版会.

鎮西清高, 1995. 日本の屋根中部山岳. pp. 119-155. 日本の山. 岩波. 277pp.

後藤優介, 2015. 立山周辺の高山帯におけるツキノワグマの生息状況および登山に係わるリスクを考える. 登山研修. 30:83-89.

中田勇吉, 1973. 立山連峰概説. 立山連峰. pp. 3-14. 文部省登山研修所発行. 190pp.

Ohdachi, S. D., Ishibashi, Y., Iwasa, M. A. and Saitoh, T. (ed.) 2009. The wild mammals of Japan. Shoukado book sellers and the Mammalogical society of Japan. Shoukado, Kyoto. 544pp.

子安和弘, 1988. 日本産トガリネズミ亜科の自然史. pp. 201-267. 食虫類の自然史. 比婆科学教育振興会. 391pp.

富山県動物生態研究会, 2014. 平成24年度イノシシ等分布・被害状況調査委託業務報告書. 96pp.

富山県動物生態研究会, 2015. 平成25年度イノシシ等分布・被害状況調査委託業務報告書. 117pp.

